

# 「平成29年度 歯及び口腔の健康づくりに関する報告書」概要

保健福祉部健康増進課

本報告書は、平成23年4月1日施行の「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」第10条の規定に基づき、歯及び口腔の健康の状況、県が平成28年度に講じた施策及び平成29年度に講じる施策について、県議会へ報告するものです。

## 1 県民の歯及び口腔の健康の状況

年 代	指 標	直 近 値				基本計画 目標値 (H29)
		県	前年度	全 国	年 度	
1歳6か月	むし歯のない者の割合	98.5% (18位)	98.4%	98.2%	H27	—
3歳		83.0% (17位)	81.8%	80.6%	H27	80.0%
5歳(幼稚園)		66.1%	58.6%	64.5%	H28	—
小学生		45.6%	45.3%	51.1%	H28	—
中学生		57.5%	58.2%	62.5%	H28	—
高校生		46.1%	41.3%	50.8%	H28	—
12歳	一人平均むし歯等数	1.1歯 (32位)	1.0歯 (26位)	0.83歯	H28	1.0歯以下
40, 50, 60, 70歳	歯周病検診受診率	6.2%	5.2%	4.2%	H28	—
60歳	24歯以上自分の歯を有する者の割合※	52.2%		11月公表 予定	H28	60.0% 以上
80歳	20歯以上自分の歯を有する者の割合※	34.8%		51.2%	H28	35.0% 以上

※(注) 県の値は平成28年度県民健康・栄養調査[速報値]のアンケートによるものであり、一方で全国値は平成28年歯科疾患実態調査(厚生労働省)の歯科健診によるものであるため、単純比較は難しい。

## 2 平成28年度に講じた施策

### (1) 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進

- ・栃木県口腔保健支援センターを健康増進課内に設置し、市町や関係機関等と連携しながら、歯科保健対策を推進【新規】
- ・小学校においてフッ化物洗口を行う市町を支援(2市町、5,104人)【新規】
- ・よい歯のコンクール(親と子、三歳児、優良学校、ポスター・作文・標語)を実施

### (2) 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及

- ・保育所、幼稚園、障害児通所施設等にとちぎ歯の健康センターの歯科衛生士を派遣し、歯磨き指導を実施(106回、3,626人)
- ・40歳未満の成人に対し歯科健診を行う市町を支援(646人)
- ・歯科疾患実態調査を実施(那須塩原市の対象地区の住民178人)

### (3) 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保

- ・とちぎ歯の健康センターにおいて障害者歯科診療を実施（延べ患者数 3,952 人）
- ・身近な地域において障害者に歯科医療を提供する「障害者歯科医療協力医」と高次歯科医療を提供する「障害者高次歯科医療機関」による歯科医療システムを構築【新規】
  - \* 障害者歯科医療協力医の登録（142 名）
  - \* 障害者高次歯科医療機関の指定（8 病院）
  - \* NH0 宇都宮病院の機器整備を助成
- ・障害者等摂食嚥下指導に関する医療従事者を対象とした研修会を開催（2 回、121 人）
- ・福祉施設において入所者及び職員への巡回歯科相談・指導等を実施（38 回、999 人）
- ・在宅歯科医療の従事者を対象とした研修会を開催（2 回、145 人）

### (4) 歯科保健医療提供体制の整備

- ・歯科衛生士の再就職を支援する研修会開催を支援（4 回、88 人）
- ・とちぎ歯の健康センターにおいて歯科保健指導者及び医療従事者を対象とした研修会を開催（1 回、54 人）

## 3 平成 29 年度に講じる施策

### 【主な新規事業】

- ・多職種連携を促進するための栄養指導・口腔機能向上に関する研修会を開催
- ・とちぎ歯の健康センターのレントゲン装置を更新
- ・歯科を新設し医科歯科連携を推進する地域医療支援病院を対象に機器整備を助成